

### 第31期第2回小田原市図書館協議会会議録

1 日 時 平成27年3月13日（金） 午前10時05分～午後0時08分

2 場 所 小田原市立かもめ図書館 集会室（2階）

3 出席者 宮崎委員長、野口副委員長、松本委員、田先委員、村上委員  
杉崎文化部副部長、古矢図書館長、松尾副館長、穂谷野管理係長、  
野村サービス係長、山崎サービス係長、小野サービス係長、星崎主査

4 傍聴者 なし

5 内 容

(1) あいさつ

杉崎副部長からあいさつ

(2) 報告事項

1) 小田原市図書施設・機能整備等基本方針について

「資料1」にもとづき、古矢館長から説明を行った。

※ 「資料1」に記載がない、以下の四点についても、説明を行った。

- ① 基本方針が正案になるまでに行った手続きの経緯。
- ② 今後は、基本方針に基づき、具体的に駅前に図書施設を新設し、市立図書館を閉館。資料については、文学館隣接地である旧保健所跡地に新施設を整備。
- ③ 3月補正予算で、駅前図書施設の検討を支援する業務の委託料が承認。委託内容は、新設する図書施設の電子機器に対する費用対効果、ゾーニング、防火システム等について、図書館が最低限確保すべき機能を、図書館がバックボーンとして説明できるよう、専門業者から意見をもらうことを想定。
- ④ 市民からも、新年度以降、新図書施設について随時意見聴取する機会を設け、進捗状況等については、本協議会に報告。

(委員長) 行政の施策について、市民の意見も取り入れていくということか。

(館長) お見込みのとおり。

(松本委員) 駅前図書施設の検討を支援する業務についてだが、受託業者は、図書館

のあり方について、検討するのか。

(副部長) 全体的なあり方については、学識経験者である野口委員や松本委員にお願いすることも考えている。受託業者には、駅前図書施設で、次世代育成の機能を持たせるためには、ビルの中にどのくらいの広さを必要とするか、他にも、しつらえ方法、中身、最新機器、デジタル化などについての意見をいただくことを考えている。

この事業については、国の補正予算を活用することを目的に、3月補正予算として計上させていただいた。ビルの中で、我々の施策を実現するために、どのような施設を整備すればよいか、専門業者に意見をいただくものである。同時に、市民からも意見をいただくことを考えている。

(松本委員) 受託業者の選定方法はどのように行うのか。

(館長) 指名競争入札の予定である。

(委員長) 図書館のハード的な内容なので、専門業者を指名することになるのか。

(副部長) 管財契約課の登録業者の中から、指名する予定である。

(館長) 現時点では、駅前図書施設の面積や入居先も決まっていない、今後、関係部門と調整するにあたり、図書館として必要な機能などをはっきりと示すことができるように、専門業者に委託するものである。

(委員長) 一つずつステップを踏んで、基本方針に沿って、事務を進めていただきたい。

## 2) 平成26年度図書館関連議会報告について

「資料2」にもとづき、古矢館長から説明を行った。

(館長) 図書館側の動きについて、市議会がどうとらえているか知っていただくために、今後、随時、報告させていただきたい。このところ、質問が多く出されており、市議会の図書館に対する関心が高いことを表している。

広域交流施設の整備については都市部の所管であるため、資料2には記載されていないが、フレキシブルフロアに公共施設を設置することを考えており、ここにライブラリー機能を想定していることが、議会に報告されている。

議会からは、図書施設の必要性はわかるが、ホテルの客室を増室するほうが良いのではないかという意見もある。平成27年の前半に、広域交流施設の実施方針が示される予定であり、パブリックコメントも実施されることになると思われる。

(副部長) 広域交流施設は、小田原駅東口お城通り地区再開発事業地の、現在建設中の駐車場棟のとなり、旧国鉄の貨物駅跡地に整備される予定である。

この施設の中に、より利便性の高い図書館を目指して、ビルに設置してもらえるように、手を挙げている段階である。しかし、ビルの中身や事業者など何も決まっているわけではなく、平成27年6月に予定されている、都市部の決定に図書館を入れてもらえるよう、調整をしているところである。

(委員長) 平成27年の前半と言われている、事業者の選定は、決まっているのか。

(副部長) 都市部では、平成27年に事業者を決めたいとしている。その後、平成28・29年度で建設される計画であるが、図書館を入れてほしいと交渉している。まだ、事業者は募集中で決まっているわけではなく、公表できる状況ではない。

来年度、ビルについて骨子を作る予定であるので、図書館を入れてもらえるよう手を挙げている状況である。

(委員長) 事業者がいつ決まるのか、気になるところである。

(副部長) 平成27年度に事業方針が制定し、そこで、市として図書館を入れるか入れないか決めることになる。ビルについては、手を挙げた事業者が運営し、その事業者と交渉することになるが、その際に、図書館としてどのくらいのゾーンが必要であるということを言えるように、支援業務について、専門業者に委託するのである。

広域交流施設のビルに入ることができなかった場合は、他の空きビルを探すことになると考えている。事業者は、収益性がどのくらいあるかに、観点が向いているかもしれない。

(館長) 図書館は、人が集まる施設と言われているが、そう思わない人もいる。

(副部長) 小田原駅のアークロードに設置してあるブックポストの利用は、平成20年度から平成25年度までの間に、年間利用冊数が2万冊から、2万8千冊

に増加している。

小田原駅は、一日の乗車人員が6万人を超えており、集客力の大きい、利便性の良い駅である。いただいた意見をオープンにしながら、この利便性の良い場所に、ぜひ図書施設を設置したいと考えている。

(村上委員) 広域交流施設の公共施設に、図書館以外に手を挙げている施設はあるのか。

(館長) 子育て支援施設が、手を挙げている。

(副委員長) 子育て支援施設は、どのくらいのスペースを求めているのか。図書館と同規模なのか。

(館長) まだ流動的であり、入らない可能性もある。他にコンベンションの話もある。現市民会館のパーティーや展示会のできる施設であるが、これらの施設は(仮称)芸術文化創造センターに計画されていないので、広域交流施設に入れるか否か、現在、交渉中であると聞いている。

子育て支援施設についても、子育て広場的なものか、保育園的なものか、学習相談室的なものになるか、はっきりとは決まっていないようである。

(副委員長) 図書館は、有力候補ということなのか。

(館長) お見込みのとおり。

(副部長) 図書館は、基本方針を制定したので、最有力であると思われる。事業者側も気にかけているようである。

(副委員長) 広域交流施設の土地は市が所有し、民間のPFI方式で建設するのか。

(副部長) お見込みのとおり。平成27年は、事業者も決まる予定である。図書施設開設の事務が進んでいることを、市民に伝えていきたいと思う。

(館長) 広域交流施設も高さが変わると収益率が変わると言われている。補正予算で認められた、支援業務委託でよりよい機能について、決めていきたいと考えている。

(委員長) 議員にもいろいろ意見があるようだが、図書館への関心が高いことが分かる。統一地方選後の、平成27年6月議会についても注目したい。

3) 平成26年度下半期図書館事業の結果について

「資料3」にもとづき、古矢館長から説明を行った。

※ 「資料3」に記載がない、以下の三点についても、説明を行った。

- ① 「秋の読書マラソン」事業を10月18日から実施。97人が参加。
- ② 11月7日に開催された「読書活動推進講演会(講師:森谷明子さん)」の記事が、図書館を考える会の会報に掲載された。
- ③ 新規事業「としょかんおたのしみぶくろ」を実施。中身が見えない形で本を貸出した。貸出実績は、かもめ図書館は30セットすべて、市立図書館は12セット中11セットと好成績。

(委員長) 「としょかんおたのしみぶくろ」は、いつから開始したのか。

(館長) 12月20日から開始した。クリスマスプレゼントのように、袋にはラッピングを施した。

(委員長) すぐに、借り手はいたのか。

(館長) 早い段階で残数が少なくなったので、セットを追加した。

(委員長) 初めての試みか。

(館長) お見込みのとおり。新しい事業は、新聞等の記事にさせていただくことが多い。そのため、このところ図書館の行事について、よく取り上げられている。文学館事業も、地元紙によく掲載されている。

(副委員長) 「としょかんおたのしみぶくろ」は、発想がユニークである。他館の事例を参考にしたのか。

(館長) 「図書館福袋」という事業を東京の図書館で実施しているようである。

(副委員長) 学校図書館の利活用にも使えそうである。

(館長) 同感である。来年度実施予定の学校図書館協議会で、ぜひ紹介していただき

たい。

(副委員長) 市の取り組みを学校でもできないかと、紹介したい。

(委員長) 複本はないのか。

(館長) ない。袋には、中に入っている本を連想させるテーマを書いた。

(田先委員) 市立図書館の映画会の参加者が少ないようだが、理由は何か。

(館長) 視聴覚設備が整った部屋ではなく、絨毯敷きのこどもクラブ室で実施している。市立図書館では、英語の絵本の読み聞かせは大変人気があるのだが、日ごろ、子ども連れの来館者は少ない。駐車場がないことが影響していると思われる。

(委員長) 映画会は、何時から開催されるのか。

(星崎主査) 午後2時からである。

(穂谷野係長) 映画会の後、同じ部屋で、午後3時から絵本の読み聞かせを実施している。

(田先委員) 同じ部屋で連続開催することで、誘導効果はあるということか。

(館長) よく参加されている人にとっては、あると思われる。

(田先委員) 事業の認知度が低いということでもないのか。

(館長) かなり長年実施しているので、ある程度の認知度はあると思われる。

(委員長) 毎月、かもめ図書館の映画会は2回、市立図書館の映画会は1回か。

(館長) お見込みのとおり。

(副委員長) 市立図書館の映画会は、月によって参加者数に差があるか、理由は何か。

(館長) 城址公園に来ている人が図書館に寄ることが多いので、天候などに左右され

ることが考えられる。

(委員長) 検証できるデータがあるとよい。

(田先委員) せっかく事業を行っているのだから、参加者は少しでも多いほうがよい。

(委員長) 学芸員の展示と解説だが、せっかく専門職がいるのであるから、継続をよろしくお願ひしたい。内容はよいと思う。

(副委員長) 大人向けに、「図書館福袋」を始めたらいかがか。

#### 4) 平成27年度図書館事業予定について

「資料4」にもとづき、古矢館長から説明を行った。

(委員長) 図書館協議会が、5月、9月、11月、3月と4回開催される予定になっている。ぜひ、この予定に沿っての開催をよろしくお願ひしたい。  
定番事業のほかに、新規事業はあるのか。

(館長) 講演会や特別展については、今年度と内容が異なる予定である。

(松本委員) 映画会は、どういう媒体のものを使用しているのか。

(小野係長) かもめ図書館は、DVD、VHS、16ミリフィルムである。市立図書館は、DVDかVHSである。

(松本委員) 著作権上、問題はないのか。

(館長) 館内上映権付ソフトを使用している。

(委員長) 16ミリ映写機も、視聴覚ホールで何とか稼働できる状態であったと思う。

(小野係長) 機材の修繕については、その都度行っている。平成27年度は、16ミリ映写機操作技術認定講習会を実施する予定である。

(副委員長) その講習会には、市民の方や学校の先生も参加可能なのか。

(小野係長) 受講者については、対象を広く募集したいと考えている。

(委員長) 16ミリ映写機については、自治会でも最近講習を受けているようである。  
研修内容について、見学させてもらえると聞く。

### (3) その他

博物館構想について、事務局から説明を行った。

(館長) 博物館構想では、図書館が保有している資料についても話題となっており、  
随時報告をしていきたいと考えている。また、社会教育委員会議では、生涯学  
習施設の再検討をしており、図書館分館や生涯学習センター分館といった老朽  
化が進んだ施設のあり方について、足並みをそろえる必要がある。

(委員長) 図書館分館については、前々回、第29期図書館協議会の答申に記述があ  
る。

(副部長) 市立図書館には、長い間収集してきた、古文書や資料が多数ある。一方、  
同じく市の施設である、郷土文化館、松永記念館、尊徳記念館にも多数の資料  
があり、博物館構想では、これらの資料をどのように整理していくか、さらに、  
図書館としては、旧保健所跡地に整備される予定である「文化・生涯学習施設」  
とどのような棲み分けをしていくのか、こうした分野で博物館構想との関わり  
がでてきている。

(館長) 「その他」については、以上のとおりである。本日は、かもめ図書館での開催  
であったが、次回は、市立図書館での開催を予定している。今後、各ネットワ  
ーク施設の状況を視察していただき、ご意見を頂戴したいと考えている。

(村上委員) 市民グループの活動に参加しているが、本協議会での公開情報を伝えたり、  
市民グループから出された意見などを、この場に伝えたりしても問題  
はないか。

(館長) 差し支えない。広く市民に情報発信することは、望ましいことだと考える。

(委員長) 本年度の会議は、これで終了とする。各委員、来年度もよろしくお願  
いしたい。

※ この後、かもめ図書館の館内視察を実施した。  
委員からは、「初めて見たところもあり、改めて見ると広い施設であることが分かる。」「竣工時は、県内一広い図書館であったことを思い出した。」等の感想が出された。

終了